

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-3
文化芸術の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課 前田秀典

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	青少年文化活動推進事業	
目的	(1) 対象	児童・生徒
	(2) 意図	児童・生徒の「豊かな心」を育むとともに、地域との連携により次代の文化活動の担い手を育成する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動の成果発表の機会を確保するため、島根県高等学校文化連盟（県高文連）が実施する発表会等を支援する。 高校文化活動に関する連絡調整窓口である県高文連の機能を高めるため、県高文連に対し、事務局体制の充実を支援する。 全国高等学校総合文化祭への参加を促進するため、県高文連に対し、参加経費の一部を支援する。 文化活動にインセンティブを与えるため、全国大会に出場する部活動を激励するとともに、全国規模の大会等で入賞した生徒を顕彰する。 文化庁や文化団体の各種事業を活用し、児童生徒に対して優れた文化芸術に親しむ機会を提供する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 高校における生徒の文化部への参加率（県高文連加盟校）	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0	%
		取組目標値						
	式・定義 文化部生徒数/高校生徒数（県高文連加盟校）	実績値	30.6	30.9				%
		達成率	-	103.0	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	9,065	8,960
うち一般財源 (千円)	9,065	8,960

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

- 全体の高校生徒数が減少傾向にある中、文化部活動への参加率は概ね30%を維持している。
- 【県高文連加盟校における参加率】
 - H26年度 5,859人/18,952人 (30.9%)
 - H27年度 5,625人/18,375人 (30.6%)
 - H28年度 5,726人/18,552人 (30.9%)

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 文化活動への各種支援等により、文化部活動参加率は増加傾向にあり、少子化が進む中においても活動の維持、活性化が図られている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 次代の文化活動の担い手育成の体制が十分でない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 生徒に対し必要な知識や技能等を指導できる教員が充足していない。

③原因を解消するための「課題」

- 合同研修会や発表会を引き続き支援し、生徒たちが専門的で技術的な指導を受けることができる場を確保する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 県高文連各専門部が開催している合同研修会や発表会を引き続き支援し、生徒たちが専門的で技術的な指導を受けることができる場を確保していく。
- 国が定めた「部活動指導員制度」や県の「ふるさとティーチャー派遣事業」等を活用し、地域の指導者と連携を図りながら部活動の質的な向上を図っていく。